

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第7部門第3区分  
 【発行日】令和5年5月24日(2023.5.24)

【国際公開番号】WO2022/075311  
 【出願番号】特願2022-555499(P2022-555499)

【国際特許分類】

H 0 3 H 9/25(2006.01)

H 0 3 H 9/145(2006.01)

【F I】

H 0 3 H 9/25 C

H 0 3 H 9/25 A

H 0 3 H 9/145 D

10

【手続補正書】

【提出日】令和5年3月3日(2023.3.3)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

20

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

支持基板と、  
 前記支持基板上に配置された圧電層と、  
 前記圧電層上に配置された機能素子とを備え、  
 前記支持基板の法線方向から平面視した場合に、前記支持基板および前記圧電層は略矩形形状を有しており、  
 前記圧電層の角部の少なくとも1つは曲線状または多角形状になっている、弾性波装置。

30

【請求項2】

前記圧電層上に設けられ、前記機能素子に接続される電極パッドをさらに備え、  
 前記支持基板の法線方向から平面視した場合に、前記電極パッドにおいて前記圧電層の角部に面する部分は、曲線状または多角形状になっている、請求項1に記載の弾性波装置。

【請求項3】

前記支持基板の法線方向から平面視した場合に、前記圧電層は前記支持基板の外形よりも内側に配置されている、請求項1または2に記載の弾性波装置。

【請求項4】

前記支持基板の法線方向から平面視した場合に、前記支持基板の外形と前記圧電層の外形との間に設けられる樹脂層をさらに備える、請求項3に記載の弾性波装置。

40

【請求項5】

前記圧電層と前記支持基板との間に配置された中間層をさらに備える、請求項1～4のいずれか1項に記載の弾性波装置。

【請求項6】

前記中間層は、前記支持基板上に配置され、前記圧電層に伝搬するバルク波の速度よりも低速の弾性バルク波を伝搬する低音速層を含む、請求項5に記載の弾性波装置。

【請求項7】

前記中間層は、前記支持基板上に配置され、前記圧電層に伝搬する弾性波の速度よりも高速の弾性バルク波を伝搬する高音速層を含む、請求項5に記載の弾性波装置。

50

**【請求項 8】**

前記中間層は、前記高音速層と前記圧電層との間に配置され、前記圧電層に伝搬するバルク波の速度よりも低速の弾性バルク波を伝搬する低音速層をさらに含む、請求項 7 に記載の弾性波装置。

**【請求項 9】**

前記中間層は、略矩形状を有しており、

前記中間層の角部の少なくとも 1 つは、曲線状または多角形状になっている、請求項 5 ~ 8 のいずれか 1 項に記載の弾性波装置。

**【請求項 10】**

支持体と、

前記支持体によって支持されるカバー部とをさらに備え、

前記機能素子は、前記支持体と前記カバー部によって構成される空間内に設けられる、請求項 1 ~ 9 のいずれか 1 項に記載の弾性波装置。

10

**【請求項 11】**

前記機能素子は、弾性表面波素子を含む、請求項 1 ~ 10 のいずれか 1 項に記載の弾性波装置。

**【請求項 12】**

前記支持基板は、シリコンを含む、請求項 1 ~ 11 のいずれか 1 項に記載の弾性波装置

20

30

40

50